

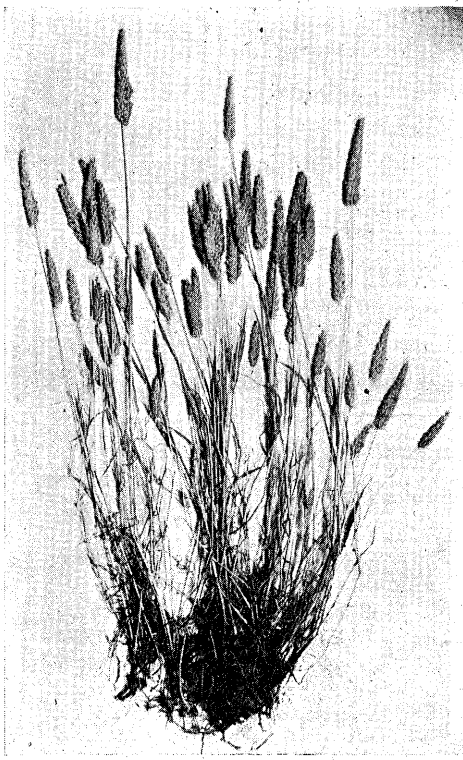
## 採 撫 餘 録（其十五）

久 内 清 孝

K. HISAUTI: Botanical Notes (XV).

## ○禾本科の一品みのぼろもどき（本田氏新稱）

みのぼろもどきトハ云フモノ、概形ハせとがや屬ニ似テ居ル。從來ノ様ニ、  
 腊葉ヲ積重ネテ置テ、鑑定者ニ名ヲ云ハセル様ナ、鑑定法ト云フカ、占ヒ方ト  
 云フカ分ラナイ手デ行クナラ、何人モせとがや屬ノ外來品ダト答ヘルノガ定石  
 デアラウ、事程せとがや式デアル。本品ハ、横濱山手町ノ路傍ニ於テ、余ノ採  
 集（4 IV, 1931）シタモノデ、當時禾本科ノ専攻家ニ引渡シ、其儘ニナツテ居  
 タノデアルガ、本年（1VIII, 1941）  
 同市新山下町ノ路傍ニ於テ、又之  
 ニ逢著シ、其顯著ナル發展振リニ  
 一驚ヲ喫シタ。此様ナ狀況ニ接シ  
 テハ、其儘ニモシテ置ケナイノ  
 デ、止ムナク戸籍調べヲ敢行シタ  
 結果、せとがや屬デハナク、みの  
 ぼろ屬デアツテ *Koeleria phleo-*  
*ides* (VILL.) PERS. (*Festuca phleo-*  
*ides* VILL.) ニ該當スル事ガ判明  
 シタ。歐洲産ノモノデ、現在北米  
 ニモ散布シテ居ルモノデアアル。學  
 名ノ意味ハ、牧草ノ Timothy 即  
 おほあはがへりノ如キ者ニ似タ感  
 ヲ起サセル處カラ來タモノデアラ  
 ウ。サテ、此ノ斷定ハ、文獻ト外  
 國標本トニ依ツタモノデ何人ノ反  
 對ヲモ許サナイ絶對的ノ斷定デア  
 アル。ソコデ、本田正次博士ト相談  
 シタラ、同氏ガみのぼろもどきノ  
 新和名ヲ付ケテクレタ。本種ハ 1、



みのぼろもどき (1/4)

年生デ叢生シ、稈ハ 2-10 cm (良好ナル地味ノ所デハ、30 cm 内外ニ達スル) デ、全ク無毛ナルモ、葉及ビ葉鞘ニハ、毛茸ガ散生スル。花穂ハ、小穂ガ密生スル結果、全體ガ穂狀花序ノ觀ヲ呈スル。而シテ、花穂ノ丈ハ 1-7 cm, 幅ハ 2-3 mm, 頂部ニ及ブニ從ヒ、漸次狭クナリ、穂端ハ鈍頭ニ終ル。穗色ハ淡綠色デ、本邦産本屬ノ如ク白味ヲ帶ビナイ。小穂ノ丈ハ、平均 4 mm デ、原則的ニハ 4 花ヨリ成ルモ、頂部ノ 2 花ハ形狀ヲ異ニスル不完全花ニ終ル。從ツテ花期ヲ終ヘルト、不完全花ハ脱落スルガ故ニ、花穂下部ノ小穂ニ於テハ、2 個ノ花ヲ有スルニ過ギナイ。内外兩穎ハ先端鈍頭デ、背側ニ

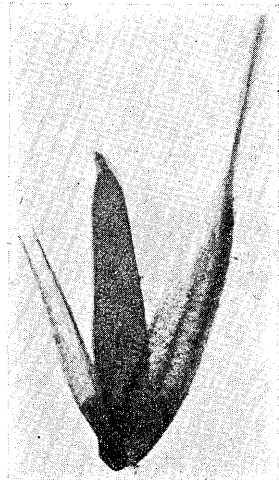
毛ガアル。外側ノ稃ハ先端微ニ凹頭デ、芒ヲ有シ、内側ノ稃ハ先端 2 叉 (全長ノ中部位迄) シテ居ル。尙稃ニ於テハ、第一花ノモノハ、背面ニ相當ノ毛ヲ認メ得ルガ、逐次毛ノ量ヲ減ジ行ク傾向ガアル。穀果ハ茶褐色デ、細長イ圓錐形デ、表面ニ顆粒狀ノ模様ヲ示ス。

### 〇つほみおほぼこ (原氏新稱)

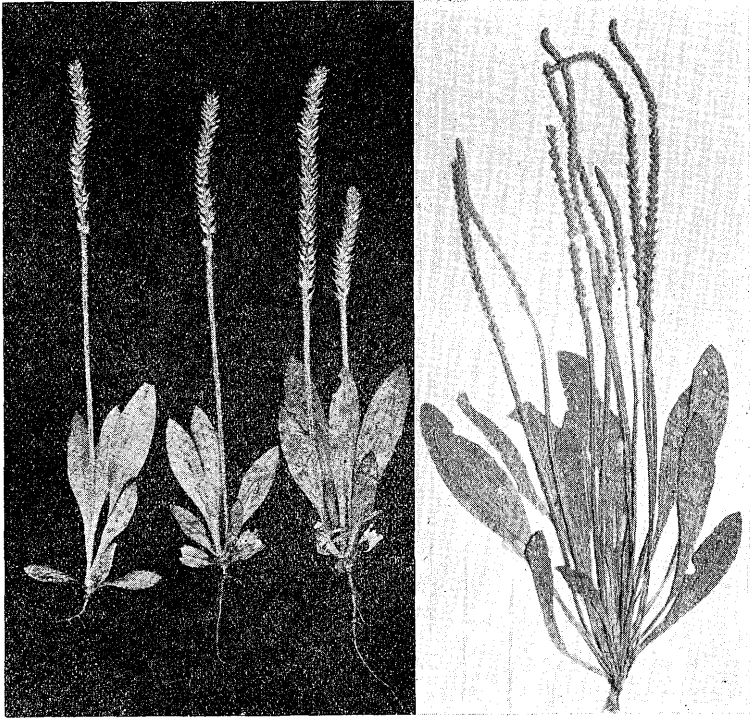
北米産ノ *Plantago virginica* L. ニ對シテ、此和名ヲ公表スル。草ノ丈ハ 10-40 cm (勿論ヨク發達シタ穂狀花ノ先端迄測ツテ) ニ達スル。多分 2 年生デアラウ。全株白毛ヲ帶ビ、へらおほぼこヨリモ更ニ多毛デアル。葉ハ篋狀ノ披針形デ狭脚(柄ノ基部ハ廣クハナラナイ)、邊緣ニハ粗ニ少數ノ齒ガアリ、齒ノ頂端ニハ極メテ細小ナ棘狀凸起モアル。穂狀



みのぼるもどきノ小穂 (×14)



みのぼるもどきノ一花 (×14)



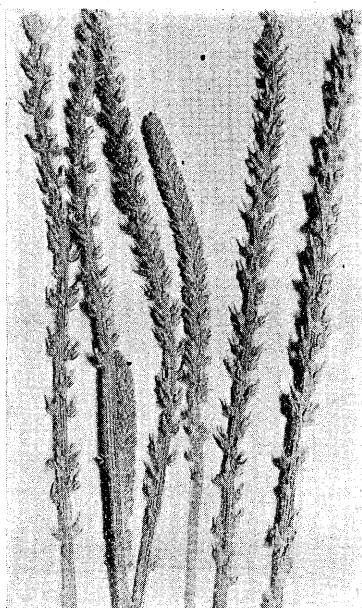
つぼみおほぼこ 左、東京産(3) 右、岡崎産(4)

花序ハ花ガ密デ花後花冠ハ殘存シ、圓筒狀デア。種子ハ褐色デ其數ハ普通 2 個デアガ、常ニ不發育ノ一ヲ伴フノガ常デアカラ、3 個發育スル可能性モアル。余ノ手元ニハ、大正 2 年 (18 V. 1913) = 太田功平氏ガ三河ノ岡崎デ又宇井氏ガ攝州神津デ (1 V. 1934) 採ツタ、全高 40 cm = モ達スル腊葉ガアツタガ、近年東京市内ヤ、近郊デ見ルモノハ、芝地ニ生エル爲メカ、7 cm 位シカナイ、從ツテ此兩者ノ間ニハ、大キサニ於テ開キガアルガ、餘リ神經質ニ考ヘル要ハナカラウ。之等ハ、多分各地ニ散在シテ地方ノ篤士家ヲ困ラシテ居ルノデハナカラウカ。東大ノ古イ標本ニ依レバ、植物園ニ發生シタモノガ、あめりかおほぼこト云フ名デ貯藏サレテ居タノデアガ、別ニ此ノ名ノモノガアルノデ原氏ガつぼみおほぼこナル新稱ヲ標本上ニ手記サレテ居ルノデ、茲ニ公表シテオク。

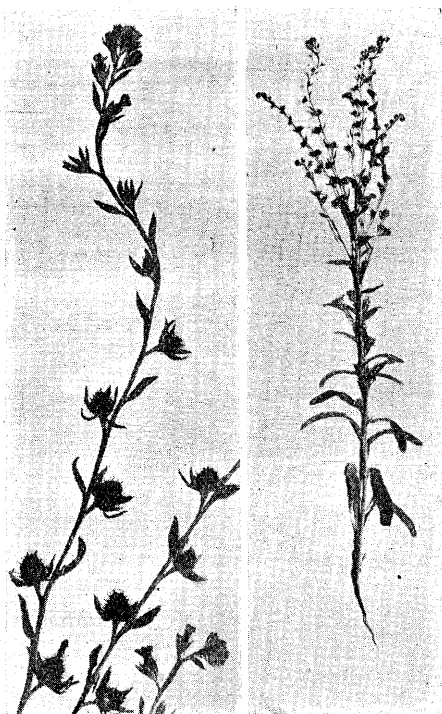
### ○のむらさき (中井氏)

之レモ、横濱ヘ來タ密行者ノ一員デアガ、いぬむらさきトわすれなくさと

ヲ合併シタ様ナ草デ、横濱ノ山下町ノ空地デ余ノ手ニ入ツタ (10 VII. 1929) モノ、ハーツデアル。原産地ハ、歐洲ダガ今デハ北米ニ移住シテ居ルカラ、何レ米



つぼみおほぼこノ花穂 (實大)



のむらさき 左(×2) 右(×1/4)

國カラ來タモノデアラウ。余ノ得タモノハ、高サ 25 cm 位アル。葉ハ莖ノ中部ノモノハ 4 cm 内外、幅 3-4 mm、全形狭披針形デ、葉面粗糙。花ハ碧色デ細小、花後發達スル托葉ノ腋ニハ、2 mm 程ノ柄ヲ備ヘ、圓錐狀ノ果實ヲ頂キ、堅果ノ背側ニハ刺ガ散生スル。學名ハ *Lappula echinata* GILBERT ガ一般ニ用ヒラレルガ、曾テハ *Echinosperrum* ニ屬シテ居タ。和名ハ中井博士ガ朝鮮ノモノデ命名サレテ居ル。

○訂正 前號デからくさはたぎほナル新稱ヲ發表シタガ、辻永畫伯ノ萬花圖鑑第5輯 (1930) ニろぼうがらしノ名ガアルカラソレガ有效名ニナル、多分牧野先生ノ下シタ名デアラウ。